

2014年度 同志社大学大学院 司法研究科
入学試験問題〔小論文〕

第1問（配点：30点）

【文章1】の下線部（1）「第三者の審級の撤退」がインターネットの世界で進むことによって、どのような変化が生じるか。「第三者の審級の撤退」の意味を明らかにしたうえで、【文章2】から読み取れる内容を用いて説明しないさい。（300字程度）

第2問（配点：70点）

【文章1】の下線部（2）で述べられているインフォームド・コンセントの是非について、【文章3】で述べられている見解にも言及しつつ、あなたの見解を述べなさい。（1000字程度）

【文章の掲載は、省略。】

出典【文章1】：大澤真幸『不可能性の時代』〔2008, 岩波新書〕143－146頁

出典【文章2】：梅田望夫『ウェブ進化論——本当の大変化はこれから始まる』
〔2006年, ちくま新書〕10－18頁

出典【文章3】：内田樹『私の身体は頭がいい』〔2007, 文春文庫〕232－234頁